

2026年度「イオン・スカラシップ」奨学生の募集

2026. 3. 23

1. 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 2026年4月現在で学部1～3年次、又は博士前期正規課程1年に在籍する私費外国人留学生（在留資格「留学」、留年者は申請不可）。
- 2) インド、インドネシア、カンボジア、タイ、中国、フィリピン、ベトナム、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、バングラデシュ、ラオス いずれかの国籍の者。
- 3) 2026年4月1日現在で30歳以下である者。
- 4) 1か月の生活費（授業料は除く）が10万円以下のアルバイトを必要とする者。
- 5) 2026年7月10日（金）～11日（土）の授与式（参加必須）、及びその他の行事に参加できる者。
- 6) 小売業・サービス業・金融業・デベロッパー・農業・IT・環境の分野に貢献したいと考える者。
- 7) 他の奨学金（総長特別奨学金含む）を受給しない者。
- 8) 日本語能力（JLPT N3相当以上）を証明できる者。（募集要項：P3/8. 応募提出書類. D参照）

Japanese ability equivalent to JLPT N3 level is required to apply.

2. 支給金額及び支給期間

生活費として月額10万円、授業料を2026年4月から最大2年間

- ※ 採用された場合には、授業料免除を申請していた場合は取り下げる。
- ※ 2年目継続可否は審査により決定、2年以内で卒業する学生は卒業月まで。

3. 推薦人数 2名（国籍重複不可）

4. 提出書類（**全てデータで提出, 1)エクセル, 2)JPEG, 3)～13)PDFで提出**）

1) 奨学生申込書（所定様式, 提出書類A1-3, 日本語入力）

- ※ PC作成時、ページ割り当てを変えないこと。
- ※ 「14. 経済状況」については、収支額に著しい差が開かないようにすること。また、授業料は4月以降の見込み（全額自己負担）として記入すること。
- ※ 「13. 認定期間中、～」の項目については、下記財団ホームページを確認の上、記述すること。
財団ホームページ：<http://aeon1p.or.jp/1p/>

2) 写真（直近3か月以内のもの）

- ※ JPEGデータ, サイズ：縦4cm×横3cm, 背景：白
ファイル名：「2025 名前(パスポート表記名)」, データ送付先：(eng-mon@grp.tohoku.ac.jp)

3) 学業成績証明書（学部以降直近のものまで）

- ※ 別紙参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入すること。

4) 在留カードのコピー（両面の写しをA4用紙1枚に収めたもの）

5) 経済状況調書（所定様式）

6) 誓約書（所定様式, 提出書類F, 本人署名）

7) 個人情報取り扱いに関する同意書（所定様式, 提出書類G, 本人署名）

8) 確認事項について（所定様式, 本人署名）

9) 民間奨学金申請時の心得（所定用紙）

10) 日本語能力試験証明書のコピー

- ※ 未受験の場合は相応の日本語能力を有することを証明する書類（A4用紙、様式任意、指導教員が署名したもの）を提出。

11) 奨学生推薦書（所定様式, 提出書類B, 指導教員により作成, **推薦が決まったら提出**）

12) 私費外国人留学生身上書（所定用紙） 13) 家計状況申告書（所定用紙）

5. 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係 eng-mon@grp.tohoku.ac.jp

6. 締切日 2026年4月6日（月）

2026年3月11日



**2026年度「イオン スカラシップ」
奨学生募集要項
(アジアからの私費留学生対象)**

公益財団法人

ワンパーセント

イオン1%クラブ

はじめに

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ(以下、当財団)は、「平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念を具体的な行動に表すため、1990年に設立されました。お客さまにイオングループをご利用いただき生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域発展の貢献」「災害復興支援」を主な事業領域として、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

イオン スカラシップは、アジアの大学生を対象とした給付型奨学金制度です。将来、それぞれの専門分野で、日本と母国の架け橋となり活躍してほしいとの願いのもと、2006年にスタートしました。授業料と生活費の支援の他、奨学生同士の交流会や宿泊研修カリキュラム、ボランティア活動などの機会を提供しています。

1. 求める人物像

大学での学びや研究、さらに日本での留学経験をもとに、将来、母国と日本との架け橋となり、両国ひいては世界の発展に貢献する意志のある者。

2. 給付金額及び給付方法

- (1) 年間の授業料の上限は消費税込で150万円とする(入学金/登録費/施設費/実習費などは含まず)
- (2) 生活費 月額10万円(消費税込)
- (3) 奨学生決定後、授業料及び生活費を大学経由にて給付(生活費は大学における定期的な在籍確認をもって給付)

3. 給付期間

原則、2026年4月1日から2028年3月31日までの2年間とする。

(2年以内で卒業をする学生は、卒業月までの給付)

一人が認定を受ける回数は最大2回(受給4年間)までとする。

2年目継続の可否は、下記について総合的に勘案し決定する。

- ・奨学生の応募資格と要件を満たしていること
- ・奨学生の責務が守られていること
- ・奨学金給付の停止または終了に抵触しないこと

4. 給付人数

最大2名/各大学

- ①各大学が当財団に推薦する学生は最大4名(アセアンの学生最低1名)とし、その中で選考の上、大学毎に認定者を決定します。
- ②当財団が主催する日本語スピーチコンテストにおいて、最優秀賞およびイオンワンパーセントクラブ賞の受賞者に優先権を与える。

5. 応募資格と要件

各大学が当財団に推薦する学生は、次の各号に該当する学生とする。

【資格】

- (1) 大学学部及び、大学院修士課程に在籍する正規生であり、本年4月1日現在で学部1年生、2年生、3年生、または大学院修士課程1年生
- (2) 次のいずれかの国の国籍を有する私費留学生
インド、インドネシア、カンボジア、タイ、中国、フィリピン、ベトナム、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、バングラデシュ、ラオス
- (3) 「留学」の在留資格で査証を取得している
- (4) 本年4月1日現在で30歳以下である

- (5) 他機関からの奨学金を受給しない(渡航費助成、入学金助成等は奨学金にあたりません)
- (6) 公序良俗に反することなく、学生生活を過ごせる
- (7) 日本留学について心身ともに支障がないと大学が判断した者

【要件】

- (1) 日本語能力試験のレベル3級/N3相当以上の証明ができる
- (2) 本事業を理解し、卒業後は日本と母国の架け橋となって活躍する意志がある
- (3) 小売業・サービス業・金融業・デベロッパ・農業・IT・環境の分野に貢献したいと考えている
- (4) 学業、人物ともに優秀で、真に経済的援助を必要とする
 - 1ヶ月の生活費(授業料は除く)が10万円以下で、アルバイトを必要とする学生
 - ※奨学金受給後はアルバイト時間数を削減し、学業に専念される方が望ましい

6. 奨学生の責務

- (1) 本制度の趣旨を理解し、夢の実現を目指して学業に精進すること
- (2) 日本の法令、及び大学の規則などは遵守すること
- (3) 当財団が企画・運営する行事に極力参加すること
- (4) 受給期間中の認定証授与式、および2年目修了時の修了式に出席できること
- (5) 奨学生認定期間中、住所、電話番号(携帯、自宅)、メールアドレス等の連絡手段に変更が発生した場合は速やかに専用サイトで登録情報の更新をすること
- (6) 卒業後の進路・就職先、連絡先を専用サイトで登録すること
- (7) 認定終了後も、登録情報に変更が発生した場合は、専用サイトで情報の更新をすること
- (8) 認定から1年後に以下を提出すること(継続認定可否について検討)
 - ① 1年間の成績証明書を大学経由で提出
 - ② 学部4年生または修士2年生に進級する/している学生は、提出書類(継続生用)「卒業見込み意見書」(指導教員による記入)を合わせて大学経由で提出
 - ③ 1年間の学内&学外活動の成果についてレポートを大学経由で提出
 - ①~③は大学経由でご提出ください。
- (8) 認定修了時に以下を提出すること
 - 卒業生
 - ① 修了/卒業証明を併記した過去1年間の成績証明書を提出
 - ② 1年間の学内&学外活動の成果についてレポートを提出
 - 在学学生
 - ① 1年間の成績証明書を大学経由で提出
 - ② 1年間の学内&学外活動の成果についてレポートを提出
 ※①は大学経由でご提出ください。
 ②は毎年2月修了式に参加する前に、当財団から学生へ直接提出するよう連絡いたします。

7. 給付の停止または終了

以下のいずれかに該当する場合には、当財団は奨学金の給付を停止または終了することができる。

- (1) 申請時の奨学生の資格を満たさなくなった場合
- (2) 病気、休学その他の理由により成業の見込みのない場合
- (3) 学業成績の著しい低下、出席日数の減少、素行が不良となった場合
- (4) 6ヶ月以上の留学(日本以外でのインターンシップを含む)をした場合
- (5) 当財団に対する提出書類及び届出事項に虚偽があった場合
- (6) その他、当財団が奨学金の給付目的・趣旨または社会的相当性の観点から、奨学金の給付を不当と認めた場合

8. 応募提出書類

応募する方は、応募書類一式(エクセル・PDF・JPEG)を、大学が指定する期日迄に大学窓口に提出してください。

【応募書類一覧】

- A. 申請書: 当財団所定の用紙に必要事項を記入(原則、日本語)
- B. 推薦書: 当財団所定の用紙に大学の指導教員(もしくはそれに準ずる方)に記入を依頼すること
- C. 申請直近の過去1年間の成績証明書
(前年度、他大学/高校に在籍していた方は、在籍していた学校の成績証明書)
- D. 日本語能力を示す書類(①または②)
 - ①日本語能力試験のレベル3級(N3)以上の合格証明書
 - ②日本語能力試験のレベル3級以上の実力を有することを証明するもの(大学の指導教員による署名入りレターなど)
- E. 在留カードのコピー(両面分を1ページに収めてください)
- F. 誓約書: 当財団所定の用紙に、署名後、スキャンしPDF提出
- G. 個人情報保護の取扱いに関する同意書: 当財団所定の用紙に署名後、スキャンしPDF提出
- H. 写真: JPEG データ
 - ・直近3ヶ月以内に撮影した正面顔写真
 - ・サイズ縦4cm×横3cm、背景白
 - ・ファイル名「大学名 パスポート表記名」
- I. 奨学生候補者リスト2026をエクセルのままご提出ください。
※Aはエクセルのまま、B～Gは順番通りにまとめて1つのPDFに、HはJPEGで提出し、Iはエクセルのまま、各ファイルにパスワードはかけないでください。

9. 選考スケジュール、及び本年度の参加スケジュール

(1)奨学生選考スケジュール

- ① 4月20日(月)迄 各大学から当財団に候補者を推薦
- ② 5月第3週目 第三者による選考委員会にてオンライン面接・奨学生を決定
※オンライン面接時間など詳細につきましては、改めてご連絡いたします。
- ③ 5月末 当財団から各大学へ奨学生決定通知を送付
- ④ 6月3日(水) 奨学生による、専用サイトでの登録完了
- ⑤ 6月4日(木) 各大学から当財団へ奨学金請求書の到着
- ⑥ 6月下旬 当財団から各大学へ奨学金を振込

(2)奨学生の行事参加スケジュール(予定)

- ① 7月10日(金) 「イオン スカラシップ」認定証授与式
会場: 東京都内のホテル(調整中)
 - ② 7月11日(土) セミナー第1回目
認定証授与式終了後に引き続き開催 ※一泊二日
 - ③ 10月～11月頃 セミナー第2回目 集合開催またはオンライン開催
 - ④ 2027年1月 セミナー第3回目 集合開催
- ※詳細は追ってお知らせいたします
※交通費(航空運賃、新幹線料金)および宿泊費は、当財団が負担いたします。

その他通年で、奨学生の居住地で当財団が企画する社会貢献事業の開催案内や、当財団諸活動へのボランティア参加募集を実施しております。

上記参加のご案内等が必要な場合に、当財団から奨学生への連絡方法はメールによる直接連絡か一斉連絡、電話、または大学経由とさせていただきます。

10. 個人情報の取扱いについて

当財団は個人情報保護の重要性を認識し、個々の情報を大切に取扱いします。また、個人情報はその人の独自性や価値観を形成するものとして、人と同じように尊重するとともに、正しく安全に管理いたします。

- (1) 奨学生選考審査に用いた個人情報は、奨学生の選考(選考委員会での審査)・決定通知、「イオン スカラシップ」奨学生認定後の、当財団企画諸活動に必要な手続き業務及び、今後の奨学生選考方法の検討資料作成のために利用します。また、利用する必要がなくなったときは、当該個人情報を遅滞なく消去します。
- (2) 認定された奨学生についてのみ、応募にあたってお知らせいただいた個人情報は、認定後の奨学生支援活動等の、当財団の諸活動及びそれに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 認定された奨学生についてのみ、当財団の業務を行うために必要となる限度で、当財団との間で協力関係にある各機関・団体・法人に対し、当事業遂行のために必要となる限度で個人情報を提供することがあります。

11. その他

- (1) 応募書類は返却しません。
- (2) 募集要項に関し不明な点等がございましたら、各大学を通じて当財団へ照会してください。
連絡先: 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ イオン スカラシップ担当者 石(セキ)
TEL:043-212-6023
Email: ml_aeon1poverseas@aeonpeople.biz
.biz

【ご参考】

日本の提携校について(北から南の順)

北海道大学、東北大学、千葉大学、東京大学、東京科学大学、上智大学、慶應義塾大学、早稲田大学、国際大学、名古屋大学、京都大学、神戸大学、流通科学大学、九州大学

以上

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2024.07.01

1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2025年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字)				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所)		

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2025年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2024年10月から2025年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2024年10月入学の場合は2024年10月から2025年3月までについて記入してください。

収入		支出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合計	円	合計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2025	後期	申請中	申請なし			
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）